

4 ミクストコミュニティ形成に向けた取組み ～生活支援アドバイザー～

地域医療福祉拠点化取組み団地に順次配置

<生活支援アドバイザーの主な役割>

- ① 高齢者相談 及び 福祉関係者との連携
- ② 高齢居住者に対する見守り（あんしんコール）
- ③ 地域交流イベントの開催



<あんしんコールのスキーム>



週1回、電話での安否確認を実施



安否が確認出来ない

<あんしんコール登録者>



巡回等による直接確認
・状況により緊急対応へ

団地内の巡回や、コミュニティ形成イベント時など
あんしんコール登録者と直接お会いすることもあります。
そういった信頼関係から見えてくる問題も少なくありません。

OUTLINE



目次

- 1 取組の背景
- 2 住宅供給者として～UR都市機構
- 3 教育機関として～藤田保健衛生大学



地域包括ケア中核センター

2013年2月 全国初「学校法人」による介護保険事業認可

「コメディカルによる人材育成を目的とした先進モデル」
24時間365日体制・緊急訪問・がん終末期・看取り
障害・小児・難病・精神など担い他と棲み分け

医師会と良好な関係・大学病院と効果的な入退院連携を形成
スタッフ33名 Ns: 8(7), PT:5(3), OT:(1), ケアマネ:3, MSW:1, 事務:5
* () 人数は大学教員による非常勤兼務



学園組織上の位置付け

藤田保健衛生大学

地域包括ケア中核センター

大学病院 他

訪問看護ステーション

2013.2 ~

居宅介護支援事業所

ふじたまちかど保健室

2015.4 ~

豊明東郷医療介護サポートセンター
「かけはし」

2017.7 ~

豊明団地サテライト

Robotic Smart Home
実証研究施設

位置関係



藤田保大

地域包括ケア中核センター
居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション

豊明団地

地域包括ケア中核センターサテライト
ふじたまちかど保健室
豊明東郷医療介護サポートセンター
「かけはし」

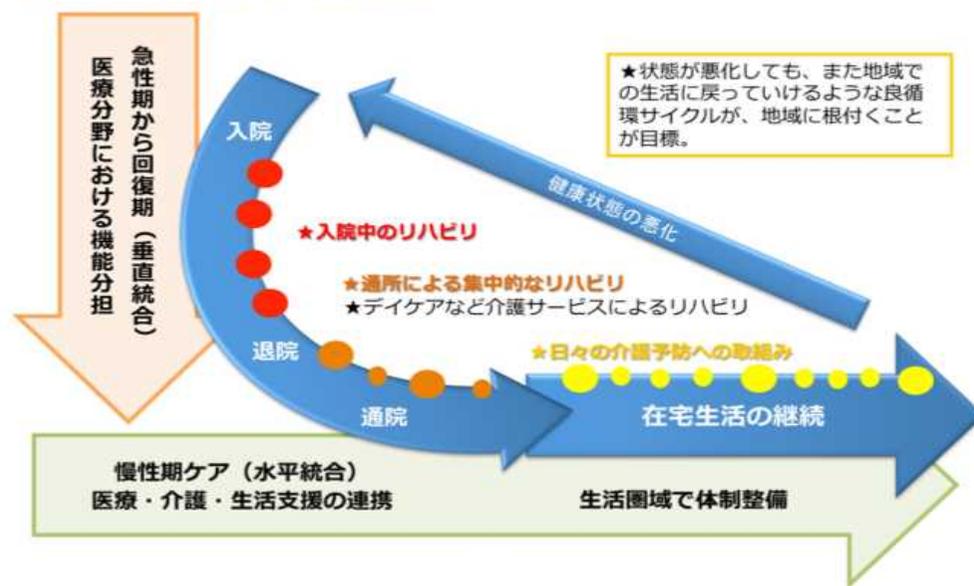
Robotic Smart Home
実証研究施設

前後駅

市役所

500m

在宅生活を長く継続する

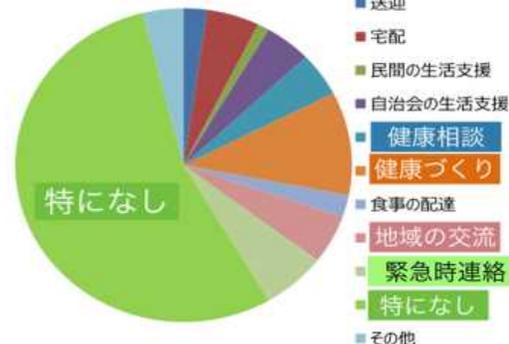


2014団地高齢者アンケート

851名配布 回収率 46%

豊明団地の高齢者の生活ニーズを把握し、地域包括ケア整備策を検討するためにアンケート調査を実施
〔高齢者健康増進事業：藤田保健衛生大学との協働事業〕

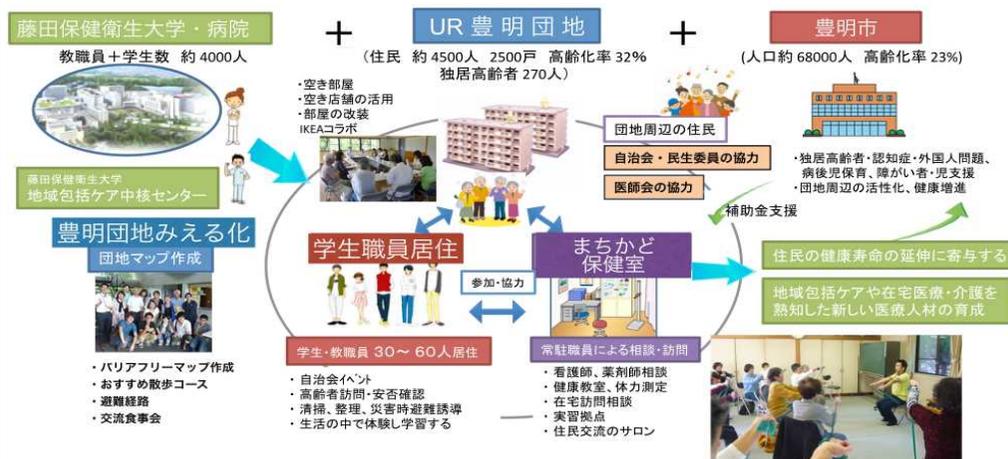
■これから利用したいと思うサービス



・過半数は、特になし
潜在的には要望あり

・ニーズの高い内容
健康づくり
緊急時の連絡
地域の交流
健康相談

UR・自治会・行政との関係



地域の健康づくり拠点

- 15年後の豊明市と日本の未来の縮図であり、互助が成立しにくい賃貸集住地域において、地域包括ケアモデルを作ることによって市内・外に応用「ふじた まちかど保健室」を設置（2015年4月）



豊明市 けやきいきいきプロジェクト

豊明団地
UR都市機構による
医療福祉拠点整備
全国先行23拠点に

包括協定締結



包括協定締結

昭和40年代高度経済成長期に建設
5階建×55棟 エレベーターなし
高齢率の高さ、独居高齢者の多さ

包括協定締結

UR都市機構

藤田保健衛生
大学



3者に加え、団地自治会、老人クラブ
開業医師、生活支援アドバイザー
民生委員、生協などで毎月協議。
情報共有と課題解決の場に。

対象範囲

ふじたまちかど保健室

母子・
障害者福祉

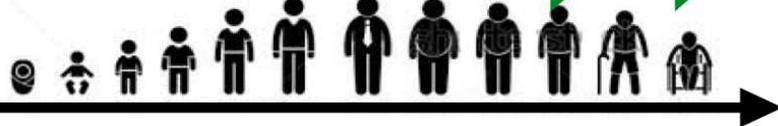
健康増進
疾病予防
認知症予防

生活支援
個別相談
増悪予防

訪問
見守り

個別相談
健康教室
地域交流
健康寿命延伸

訪問看護・リハ
居宅介護支援事業所
医療 介護 看取り



ふじた まちかど保健室

- 実施内容：健康相談、日替わりミニ健康講座、介護予防、趣味や住民交流などを実施（無料）

- 対応：
看護師、療法士、薬剤師、
ケアマネ、社福祉等
（地域包括ケア中核センター職員）

- 平日 10 時～ 15 時開室

- のべ 5,560 人来室
（平均 22人 /日）

- 住民ボラ 30人/月



部屋の初期改装：UR
家賃：大学
運営費：大学
人件費：大学
広報：行政
他団体への折衝：行政

週間イベント予定表



午前11時～ / 午後 2時～
相談は10～15時 いつでも受付しています

行事の予定は、都合により変更することがあります。ご了承下さい。



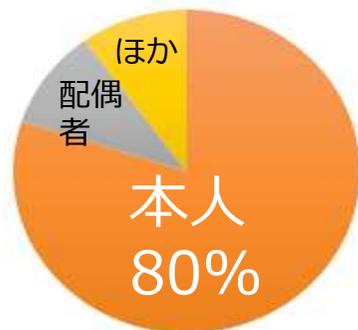
日にち (曜日)	6/28 (日)	6/29 (月)	6/30 (火)	7/1 (水)	7/2 (木)	7/3 (金)	7/4 (土)
午前	ミニ講座 ＜自治会＞	脳トレーニング	お薬手帳の使い方	咳、痰、タバコの悩み、肺が楽になる呼吸嚥下体操！	頭の体操で認知症予防	夏バテ予防について	休み
担当	ふれあい会 と出張相談	看護師	薬剤師 看護師	リハビリ療法士	薬剤師 看護師	看護師	
午後	ミニ講座	訪問看護って何？②		七夕かざりを作りましょう	頭の体操で認知症予防		
担当		看護師 リハビリ療法士	薬剤師 看護師	看護師	薬剤師 看護師	看護師	

人気の講座

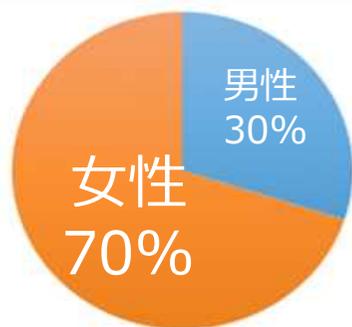
- 体操教室（医療介護専門職が講師）
認知症予防、尿もれ予防、転倒予防、腰痛膝痛予防
- 健康ミニ講座、学び直し講座（医療介護専門職が講師）
認知症、高血圧、関節の痛み、咳、嚥下、骨粗鬆、心臓病
腎臓、飲み過ぎ、入浴中の事故、終活、お墓や葬儀のこと
- 道具を手入れしよう（民間が講師）
義歯、補聴器、杖、補助具
- 地域交流講座 おたのしみ講座（住民が講師）
折り紙、塗り絵、クラフト、歴史、etc….

保健室に相談に来る方

- 調査期間：2015年4月24日～2016年3月31日
「ふじたまちかど保健室」での個別相談
相談記録（カルテ）229件



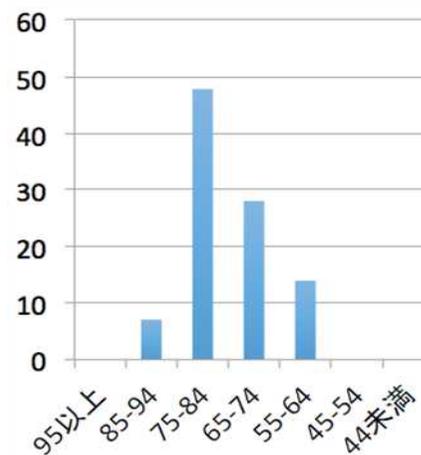
Q：誰か？



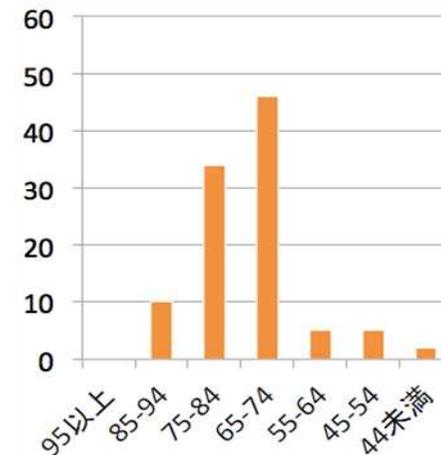
Q：性別

年齢別

男性



女性

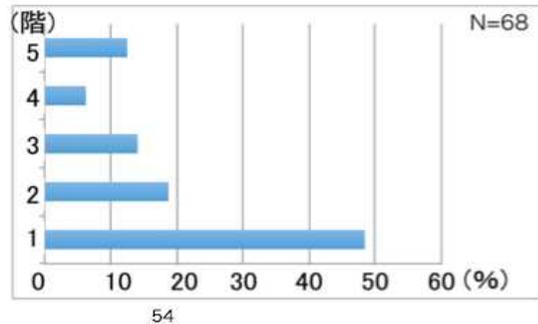


団地内住民？

男性 68% 女性 68%

何階に住んでいる？

団地居住階	%
5	13
4	6
3	14
2	19
1	48

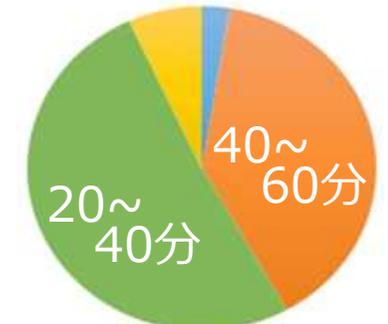


54

来室回数と相談時間



Q：同一案件の回数



Q：相談時間

相談内容の特徴



Q：相談内容

男性

めまい、耳鳴り、高血圧について

女性

痛み、薬、食事、体重について

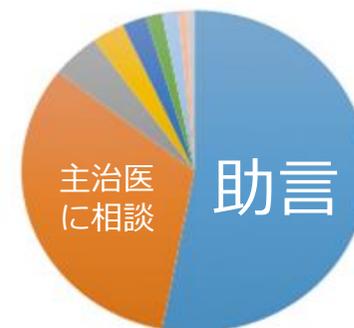
独居男性

夜間の頻尿や尿漏れ
急変時の不安

独居女性

認知症状
痛みについて

相談時の対応



Q:相談時の対応

助言

受診時主治医に相談すすめる

新規受診すすめる

包括に相談

保健室利用へ

担当ケアマネに対応依頼

行政に相談

訪問看護へ

団地管理事務所と情報共有

利用者の声から

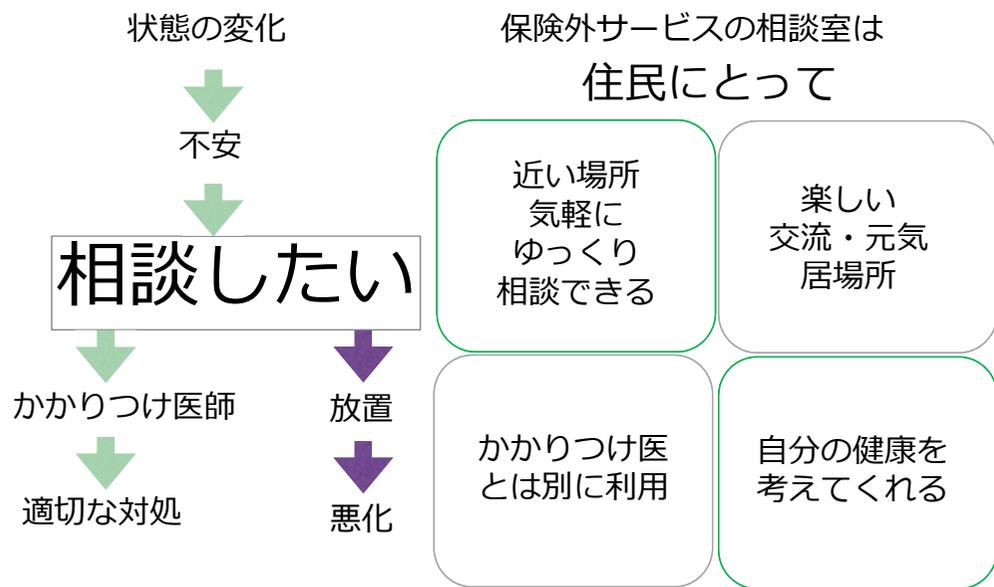
- かかりつけ医や通院先がある 104例/128例 (81.2%)
- 保健室利用者の声
 - 医療への入り口と接続後の補助として期待されている
 - 病院にかかるほど悪いのか、自分では判断できない
 - どの診療科（診療所）にかかればよいか？
 - ほっといても（お金かけなくても）よいか？
 - 評判のいい医者とは？
 - どんな検査をするのか？

医療接続中・後の利用

医療に接続後

- 先生の言っていたことがわからない（難しい、早い、忘れた…）
- わかったフリをしてうなずいて帰ってくる
- 診察では遠慮して話せない（怖い、気難しい、怒られるかも）
（自己の症状、薬が合わない、違う部位の症状）
- 短い時間でまとめて自分のことを伝えられない
- 言いそびれて（忘れて）しまう
- 診察室に大勢ならんでいると、
先生の時間を奪うようで周りにも気の毒、独り占めできない
ほか
- 薬、検査値、検査内容、退院した後の日常生活注意点

個別に相談できる居場所



学生・職員の団地居住「おとなりプロジェクト」

2017.4～学生50名 教職員10名 合計60名居住



カラーコーディネート・IKEA改装モデルルーム

- 2015年 4月 学生・職員計18人居住開始
- 2016年～ 学生・職員37名居住体制へ
- 4 or 5階の空室が対象、URが改装
- 全室2DK～3DK 家賃 10～20%引 家賃32,000～
- IKEAコラボ改装 カラーデザイン改装他

- 居住条件
自治会活動、保健室活動に参加し住民と交流、地域貢献
高齢独居者との食事会、安否確認、災害時の避難誘導、清掃活動

2015	16名 + 教職員 2名
2016.	35名 + 教職員 7名
2017.	50名 + 教職員10名
2018.	70名～80名 予定

内覧説明会にて趣旨理解



2018年度 EPA
ベトナム人+大学看護学科学生
混住棟を設置予定

団地共生生活やイベント参加
日本文化と言語習得支援

日本看護国家試験の合格
帰国後ベトナム看護教員を目指す



居住学生による地域活動 一人あたり平均45時間/年

学生と自治会会議



公園清掃



子生による貝い物文展



防災訓練



災害時炊き出し訓練



独居高齢者とのふれあい会食



豊明団地夏祭り



団地内に散住し避難者支援



学生居住棟と 防災担当地域

- ★ 教員
- ★ 看護
- ★ リハビリ
- ★ 臨床検査
- ★ 臨床工学
- ★ 放射線
- ★ 医学部

安否が確認され
自宅待機になった場合は、
ふじたまちかど保健室管理の
避難所運営応援学生として
活躍する

2017.8.20
市消防署と市防災課と共同
「避難所救援物資の
仕分け・運搬シミュレー
ション」学生が訓練

団地バリアフリー調査結果を ウォーキングマップにして配布



バリアフリー通路は、
災害時に安全な「避難経路」にもなる



ウォーキングマップ利用 多世代健康ウォーキング

第1回 2016.3.21
86名参加 (3歳~86歳)

第2回 2016.11.23
102名参加 (2歳~87歳)



団地内のバリア・AED設置場所・防災倉庫チェック
健康クイズ・宝探しなど、多世代交流

地元の豊明高校と連携

2016.6.16 愛知県立豊明高等学校
平成28年「明日を拓く人材育成事業」
採択

2016.7.30 (土)
熱中症予防キャンペーン実施
高校生と大学生の合同チーム4が団地周辺住民
約40人に啓発活動。
高校生15人 教員3人 大学生4人 教員4人

豊明高校 860名に出張講座
「地域包括ケア」と未来の姿

団地内で大学生と活動体験

消防訓練、独居高齢者食事会、文化祭、ウォー
キング大会、もちつき大会、クリスマス会など、大学
生と共催



子供との交流・参加

2016.6.18 (土)
子供むけお楽しみ講座 80人
マジックショー クイズ 折り紙など



夏休みこども寺子屋 (大学生が学習指導)
2016.8- のべ46人



2016.8.9 (火)
流しそうめん大会
40人
子供向けAED講習
自治会との共催



学生は団地に住むことで、実習・講義で得られない
地域住民が抱える不安や現実の生活課題を学ぶ

コミュニケーションスキルが上達する

挨拶、雑談、会話から情報収集ができるようになる

疾患を抱えたり独居生活している方の
不安を聞くことで、医療と生活が結びつく

住民・学生・子どもが創る地域共生

自治会支援



地域づくり



地域課題の
共有と解決
老人会
民生委員

大学・社会人
地域共生

独居高齢者食事会



熱中症予防



防災・避難訓練



中学・高校生
活動

お楽しみ会

学習支援

そうめん流し

農業



幼児・小学生
参加

大学・行政による医療介護連携拠点を整備

医療介護連携推進事業「在宅医療に関する相談支援（医療介護連携支援センター）」。
行政（豊明市・東郷町）・医師会（東名古屋医師会）・大学（藤田保健衛生大学）による
共同運営について協定を締結。平成29年7月より稼働。



全国初となる学校法人による
運営として研究機能も持つ



藤田保健衛生大学ロボティクススマートホーム実証研究施設 Fujita Health University Research Center for Robotic Smart Home

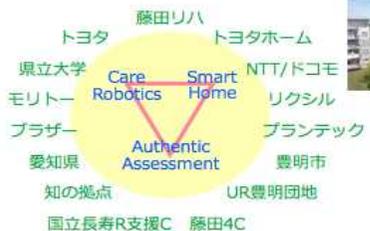
要介護認定者数の推移



世帯数と平均人員の年次推移



高齢者の安心で快適な在宅生活を可能にする
移乗介助ロボット、サーバントロボット、テレビ型機器など
各種支援機器を開発・製品化
それらが活躍できる空間性をデザイン、真の場面で実証



高齢者世帯に最適化
支援機器と空間を同時開発
50平米住宅に対応
移乗・操作・情報支援
長寿デザイン



モリトロー：
懸架型歩行支援装置



トヨタ：HSR



トヨタ：
横移東支援装置



ブラザー：コミュニテレビ



NTT：hitoe



リクシル：
健康チェックトイレ



主な発表・視察・取材（平成28年度対応分）

発表・事例報告

- ・内閣府「経済財政一体改革推進委員会」（東京）
- ・内閣官房「未来投資会議構造改革徹底推進会」第3回「健康・医療・介護」会合
- ・厚生労働省老健局振興課「総合事業担当者セミナー」（東京・金沢市・旭川市）
- ・厚生労働省老健局振興課「これからの保険外サービス」セミナー（東京）
- ・国保中央会「全国市町村国保主管課長研究協議会」（東京）（ほか多数）

視察・調査ヒアリング

- ・海外 中国国営2団体、シンガポール保健省
- ・国内 「経済財政一体改革推進委員会」
経済産業省、東海北陸厚生局、中部経済産業局
愛知県副知事2回、国会議員、県会議会、市議会等
愛知県、名古屋市、岡崎市、豊田市、尾張旭市、東郷町、知立市、長久手市
日進市、清須市、東浦町、大府市、美浜町、蒲郡市、津島市、知多市、
神奈川県、大磯町、東大和市、町田市、日野市、三鷹市、目黒区、
中野区、朝霞市、千葉市、上松町、香芝市、札幌市
- ・大学
川崎医科、北里、近畿、京都府立、福岡女子、日本福祉、名古屋大、
名古屋学院、名城、愛知教育、愛知医大、武庫川女子、大阪医大、
東京医科、東京慈恵医大、東北大学 各団体 150団体以上

取材

- ・新聞報道 全国版 朝日、毎日、読売、日経、産経 地方版 中日ほか28社
- ・TVニュース NHK、NHKラジオ、TBS系列、テレビ朝日系列、読売系列
- ・番組 全国放送 NHKあさイチ、おはよう日本、NHKジャーナル（ラジオ）、
テレビ東京、東海地方 NHK、東海テレビ、メーテレ、CBC

受賞

- ・2017年日本在宅医学会優秀賞 2017年日本都市住宅学会賞





藤田保健衛生大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

地域包括ケア中核センター

E-mail : houkan@fjita-hu.ac.jp

TEL : 0562-93-3707

豊明市沓掛町田楽ケ窪 1 番地98

<https://www.fjita-hu.ac.jp/care/>

—— 街に、ルネッサンス ——



UR都市機構

中部支社

住宅経営部ストック活用計画課

TEL : 052-968-3333 (代表)

名古屋市中区錦三丁目5番27号 錦中央ビル

<http://www.ur-net.go.jp/central/>



豊明市
TOYOAKE CITY

健康福祉部 高齢者福祉課 地域ケア推進係

E-mail : chiikikea@city.toyoake.lg.jp

TEL : 0562-92-1261

豊明市新田町子持松1番地1

<https://www.city.toyoake.lg.jp/>